

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 2 月 6 日作成 第 1.0 版

研究課題名	糖尿病合併手術患者への術中のグルコース投与量の実態調査及び、グルコース投与が糖代謝に及ぼす影響の解析
研究の対象	2019 年 4 月から 2024 年 12 月の間に、横浜市立大学附属病院において全身麻酔下で手術時間 2 時間以上の手術を受け、年齢が 18 歳以上の方を対象とします。
研究の目的	糖尿病を合併した方が手術を受ける際にどのくらいのグルコースを投与することが良いのか明確になっていません。本研究では手術を受けた方の中で、糖尿病を合併した方、合併していない方それぞれに対して実際にどのくらいの量のグルコースが投与されていたのかを調査するとともに、グルコース投与量が術中の血糖値やインスリン投与量等との関連を明らかにします。
研究の方法	診療録、麻酔記録から情報を収集して、手術中にどのくらいの量のグルコースが投与されたのか、またグルコースの投与量と術中の血糖値等の関連について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 3 月 17 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2025 年 3 月 17 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる試料・情報の項目	【情報】診療録、麻酔記録から以下の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none">背景情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、併存疾患、術前常用薬術前検査情報：<ul style="list-style-type: none">血液学的検査（白血球数、ヘモグロビン、血小板数）生化学的検査（総蛋白、血清アルブミン、総ビリルビン、随時血糖、HbA1c 等）手術情報：疾患名、手術術式、手術時間、出血量麻酔情報：麻酔方法、麻酔時間、術中輸液の種類別投与量、術中インスリン投与量等術中検査情報：血糖値、血液ガス検査値
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 麻酔科 東條 健太郎
利益相反	本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究における開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 麻酔科（研究責任者）東條 健太郎
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 麻酔科（研究責任者・問い合わせ担当者）東條 健太郎 電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 787 - 2916</p>	